

1年生の意欲的な姿

長町中の伝統を継承し発展させる学年として

合唱コンクールの練習が熱を帯びてきました。音楽の時間にとてもきれいな歌声が校長室に聞こえてきます。どの学年も日々、合唱が変化していくのが分かります。各学年の先生方と生徒達の努力がよく分かりますし、熱意や熱気も伝わってきます。

一昨日、雨模様でしたが、校長室の窓を開けると、とても透明感のある歌声が音楽室から聞こえてきました。思わず4階まで行き、音楽の授業を参観してみました。とてもフレッシュで、真剣な姿の1年生のクラス合唱でした。きっと本番までさらに改善してもっと素敵な合唱になっていくでしょう。

1年生のフロアを歩いてみると、学年全体が大きく成長していくような可能性を感じます。まず顕著なのは、あいさつの声がとても大きく活気がある事でしょう。自ら進んであいさつができるのは、物事に取り組むうえでの基本的姿勢につながります。しかもそれが人から注意を受けてしているものではなく、自らの意思で行っている事は、様々な活動に前向きに取り組む構えが出来ているという事でもあります。また、それは、他者を意識できている事でもありますし、人とかかわろうとする基本的姿勢でもあります。

授業中も合唱の取り組みと同じように積極的な姿勢が、様々な場面で見られます。進んで挙手する態度、グループ学習で明るく話し合える雰囲気、そして合唱に意欲的に取り組んでいる姿……。是非、今後もその姿勢を忘れる事なく成長してほしいと思います。

長町中学校では、これまでも上級生が、下級生の手本となってきました。その伝統が引き継がれているのも確かな事だと思います。今後も上級生が下級生をリードし、さらには、下級生の頑張る姿を見て、上級生も初心に戻る、という良い循環が広がっていくと、学校全体のさらなる大きな力になると思います。

今は、合唱コンクールに向けて、全学年の全クラスが真剣に練習に打ち込んでいます。音楽の授業に向き合う姿勢や毎朝、放課後の練習もとても立派です。1年生が今のような態度で、しっかりと練習に前向きに取り組むという事は、とても意味のある事だと感じます。

長町中学校に入学してくる学区内の小学校には、特に合唱部や合唱団があるわけではありません。昨年度、長町南小学校の校長先生が私に「どうして、学区内の小学校に合唱部や合唱団がないのに長町中は合唱が盛んなのか？」と問われた事がありました。それはまさしくこれまで、生徒達と先生方で脈々と受け継いできた伝統のうえに今の生徒達の前向きな取り組みがあるからだと思います。そしてこれからもきっと「合唱の長町」の伝統は、引き継がれていくものと思います。1年生の生徒達も「合唱の長町」という意味が、自分自身の体験として理解できてきているのではないのでしょうか。

1年生の保護者の皆様も是非、コンクール当日や学校公開日に足を運んでいただき、お励ましいただければ幸いです。きっと小学校時代からさらに成長した生徒達の姿をご覧いただけるとと思います。